

国立研究開発法人産業技術総合研究所との連携を活かした 産総研発ベンチャー創出の枠組みを創設

～「**AIST&DBJ VENTURE2050**」プログラムの開始～

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）と国立研究開発法人産業技術総合研究所（理事長：石村和彦、以下「産総研」という。）は、2017年9月に締結した包括連携協定に基づき相互連携を進めて参りましたが、今般、連携関係の更なる深化の一環として、産総研が保有する技術および研究成果を社会実装すべく、産総研・DBJ 技術事業化サポートプログラム「**AIST&DBJ VENTURE2050**」（注1）を創設することに合意し、「基本合意書」を締結致しました。

DBJ は、社会的課題の解決に資する「**Society5.0**」社会の実現に向け、イノベーションを起こす新結合のための触媒となるべく、積極的に新たな取り組みへの挑戦を続けております（注2）。

また、産総研は、2020年度に開始された第5期中長期目標において、「世界に先駆けた社会課題の解決と経済成長・産業競争力の強化に貢献するイノベーションの創出」をミッションに掲げ、基礎研究と事業化の結節点としての「橋渡し」機能の強化に向け、ベンチャー創出に注力しております。

こうした状況の中で、DBJ と産総研は 2050 年の社会において大きなインパクトをもたらすポテンシャルを有する先駆的ベンチャーをいち早く創出するため、両者の総力を結集し、産総研の研究開発力・技術力と DBJ の金融・事業化ノウハウを新結合させることにより、事業創造をサポート・加速する取り組み：「**AIST&DBJ VENTURE2050**」を創設することと致しました。具体的には、DBJ と産総研が共同検討チームを組成し、2050 年の社会に向けてイノベーションを起こし得る産総研の技術・研究成果に対し、事業化に向けた経営基盤整備、研究開発促進等必要なサポートを行い、協働してベンチャー創出を目指します。

また、ベンチャー設立にあたっては、DBJ の「**Society5.0 挑戦投資制度**」（注3）による出資を始めとした経営サポートや産総研による継続的な技術サポート、両者のネットワークを活用した新結合の推進など、ベンチャーの成長・発展に向けて長期的視点に立ったサポートを両者一丸となって継続していくことを想定しております。

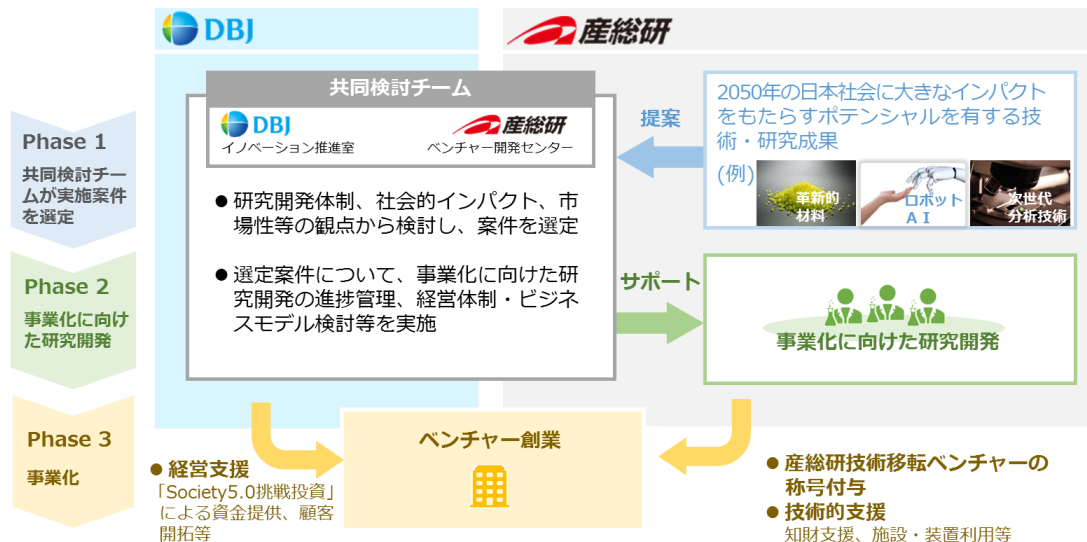
2050年の未来に向け、DBJと産総研は人的交流を含めた一層の相互連携により、医療・福祉分野における先端技術を始め、人間中心の Society5.0 社会を実現するために求められるあらゆる領域でのイノベーション創出に貢献して参ります。

<スキーム図>

AIST&DBJ VENTURE2050

産総研・DBJ 技術事業化サポートプログラム

✓ 2050年の日本社会に大きなインパクトをもたらすポテンシャルを有する技術・研究成果の実用化を加速するため、産総研とDBJが新たなベンチャー創出に向けて連携〔『探求』から『実装』に向けた枠組みを創設〕



DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様および社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、イノベーション活動への主体的な金融投資家としての貢献によって、今後ともわが国社会全体のレジリエンス向上に資する金融機能を果たしてまいります。

(注1) AIST & DBJ innovative VENTURE challenge for 2050の略。プログラム名は、長期的な視点にたち2050年の社会において大きなインパクトをもたらす産業の創造に貢献するベンチャーをいち早く創出することを目指し命名



(注2) 2020年7月6日プレスリリース「[イノベーション活動への新たな挑戦](#)」

(注3) わが国の社会課題の解決や、新たな価値観での新産業創造を目指して持続可能な社会作りに貢献する活動に対し、投資によって事業参画する新たな枠組みとして、「Society5.0 挑戦投資制度」を創設した（2020年7月6日プレスリリース「[イノベーション活動への新たな挑戦](#)」）。

【お問い合わせ先】

業務企画部 イノベーション推進室 電話番号 03-6311-5048